

山舟生を皮切りに始まった「地域自治組織立ち上げ」の動きが今、市内各地区に。でも「なぜ必要か」「立ち上げて何をするか」いまひとつよくわからない、の声も。そこで探ります「市民の市民による市民のための地域自治組織実現の道」。

第8回研修交流ゼミ★「地域自治組織立ち上げ支援講座!」 市民と地域を応援するため 12月13日(土) 緊急開催!

「地域を元気にする」ことをめざし
「交流館」の管理運営を地域で担う

山舟生を皮切りに市内各地区で「地域自治組織設立検討委員会」の動きが広がっています。市民協働課によると11月20日段階で12地区となっています。こうした動きがめざしているのは、将来(5~10年後でも)自分たちの地域が元気であるように、今から準備しておこうというもの。そのためにまず「交流館」の管理運営ができる「地域自治組織」を来春までに立ち上げようとしています。

どう立ち上げてこれから何をすれば良いか
具体的な道筋を一緒に探りましょう

山舟生モデル事業はじめ各地区の動きを市民目線でサポートしてきた「支援センター」では、一連の動きを後押しすべく「地域自治組織立ち上げ支援講座!」を緊急開催することとしました。「なぜ必要か」「立ち上げて何をするか」について疑問の方も、報告と提言を通し、「地域自治組織実現の道」をご一緒に探っていただける講座となることでしょうか。ぜひご参加ください。



←写真は「柱沢地区検討委員会①②」「富成地区検討委員会③④」のワークショップの様子

平成27年度第8回研修交流ゼミ

12月13日(土)

地域自治組織設立支援講座!

参加無料

時間: 18:30 ~ 20:30

会場: 伊達ふれあいセンター 2階会議室

定員 30名

<第1部> 18:30 ~ 19:00

「支援センター」からのスライド報告

各地の地域自治組織「設立検討委員会の動き」と「支援センターのサポート」

○報告 = 石澤 剛太、宮崎 美紀 (伊達市市民活動支援センター)

<第2部> 19:10 ~ 19:50

「支援センター」からのスライド提言

「なぜ必要か」「どう立ち上げるか」「立ち上げて何をするか」…市民と地域にとっての地域自治組織って何だ!

○提言 = 赤間 謙一 (伊達市市民活動支援センター)

<第3部> 20:00 ~ 20:30

意見交換 (ワークショップ)

市民と地域はこれから何をどうすれば良いか、行政には何を働きかければよいか

○ファシリテーター = 赤間 謙一、石澤 剛太、宮崎 美紀 (伊達市市民活動支援センター)

御参加希望の方はまず支援センター ☎ 024-583-2800 までお電話ください

すでに市内 12 地区では「地域自治組織立ち上げ支援申請」済み (11.20 現在) 先行地区では「27 年度事業」と「組織編成」の協議段階に入る

地域自治組織編制諸団体の年間行事を確認の上
新しい自治組織が担う事業をワークショップで選定

伊達市では 12 の地区が「地域自治組織立ち上げ支援申請＝交付金 17 万円」を済ませました。各地域で地域の各種団体や各町内会（行政区）から代表を集めた「地域自治組織設立検討委員会」が設置され、取り組むべき地域の課題や事業について検討を始めています。

例えばすでに設立検討委員会を設置した伊達市保原町の柱沢地区と富成地区では、まず、委員会を構成する各団体が過去に行った「年間事業」をリストにまとめ集約しました。そのリストから、新しい自治組織設立後に行う事業を、設定した 4 つの部会「総務・企画」「健康・福祉」「地域づくり」「環境・防災」に振り分け、各部会で検討しました。この一連の作業はワークショップ形式で協議を行い、「伊達市市民活動支援センター」が地域自治組織立ち上げ支援として、ワークショップの進行や協議の「見える化」をサポートしています。

一方、モデル地区として先行している山舟生では、部会ごとに行う 27 年度の「地域の計画づくり」の細部設計協議を進めています。また、各町内会の世帯数を考慮した、より地域の実情に合う「組織編成」という、新たな課題にも取り組み始めています。



↑ 4 つの部会（テーマ）にわかれ自治組織が行う事業を検討（富成）

「石田ふるさと振興会」や「NPO きらりよしじま」等
先進地視察も織り込んで事業展開や組織編成も研究

各地の「地域自治組織設立検討委員会」の動きは、左のようなワークショップばかりではありません。先進事例の視察研修も大切なこと。山舟生モデルでは、宮城県丸森町の事例を研究しましたが、保原地区の、「柱沢」「富成」では、地元こそ好事例があると市内霊山町石田地区で地域活動を積極的に展開している「石田ふるさと振興会」を対象に視察研修を実施しています。また保原地区の「大田」と霊山地区の「掛田」では山形県川西町の吉島地区で交流センターの指定管理を担っている「NPO 法人きらりよしじまネットワーク」を訪ねています。

地域の課題や地域の事業を探り、計画に仕立てていくには、地域の意見を聞きながら集約していく上で、ワークショップは有効な手法です。それに加えて重要なのが、実際に事業を企画し、資金を手当てし、人を動かす組織にするにはどうすれば良いか。これを探るのが事例ならびに先進地視察による研究。上に報告した 4 例はそれぞれに自分たちのエリアや世帯数、人口に合わせて対象を選定し研究を行っています。きっと、これからの組織編成ならびに事業の計画・展開に役立つことでしょう。



↑ きらりよしじまネットワーク HP・地区産品を販売するインターネットショップも運営

「支援センター」は「地域自治組織立ち上げを技術面でサポート」

「地域自治組織の主役は地域住民」です。これを名実ともに実現するには、地域住民が当事者として「地域課題を洗い出し」「課題解決のアイデアや夢を出し合い地域づくり計画に仕上げ」その実現部隊としての「地域自治組織」を「編成・立ち上げ・運営」していく必要があります。「伊達市市民活動支援センター」は市内各地域での自治組織立ち上げ支援実績を生かし、その全工程をサポートします。お気軽にご相談ください。

伊達市市民活動支援センター

電話番号：024-583-2800 FAX：024-583-2820

○開館：毎週・火～日曜（月曜休館）

午前 9 時～午後 6 時

伊達ふれあいセンター 3 階まで

